岩手県における新レベル分類の運用について

資料３－２

令　和　４　年　１　１　月　３　０　日
岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部

オミクロン株に対応した新レベル分類における、岩手県の判断基準については、以下のとおりとする。

		感染小康期	感染拡大初期	医療負荷増大期	医療機能不全期
オミクロン株対応の新レベル分類		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
レベル判断に関する事象	保健医療の負荷の状況	・外来医療・入院医療ともに負荷は小さい	・診療・検査医療機関(発熱外来)の患者数が急増し負荷が高まり始める ・救急外来の受診者数が増加する ・病床使用率、医療従事者の欠勤者数が上昇傾向となる	・発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到する、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生 ・救急搬送困難事案が急増する ・入院患者が増加し、また医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる	・膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到する ・救急車を要請されても対応できない状況が発生する。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態 ・膨大な数の感染者により入院が必要な中等症・重症の患者数の絶対数が著しく増加する ・多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫する ・入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生する ・通常診療を大きく制限せざるを得ない状態
	社会経済活動の状況	―	・職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が出始める	・職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生する	・職場の欠勤者数が膨大になり社会インフラの維持に支障が生じる
	感染状況	・感染者数は低位で推移しているか、徐々に増加している状態	・感染者数が急速に増え始める	・医療の負荷を増大させるような数の感染者が発生する	・今冬の新型コロナウイルス感染者の想定を超える膨大な数の感染者が発生する
レベル判断に関する指標		病床使用率： 概ね0～30%	病床使用率： 概ね30～50%	病床使用率： 概ね50%超 重症病床使用率： 概ね50%超	病床使用率： 概ね80%超 重症病床使用率： 概ね80%超